

5 施設サービスの状況

(1) 要介護状態区別にみた単位数・受給者1人当たり費用額

各施設サービスの1年間の単位数は、介護福祉施設サービスが最も高く、次いで介護保健施設サービス、介護療養施設サービスとなっている。なお、要介護状態区別にみると、介護福祉施設サービスでは「要介護4」「要介護5」の割合が多く、介護保健施設サービスでは「要介護3」「要介護4」の割合が多く、介護療養施設サービスでは「要介護5」の割合が多くなっている。(表11)

また、平成27年4月審査分の施設サービス別受給者1人当たり費用額をみると、いずれの施設サービスも要介護状態区分が高くなるほど費用額も高くなっており、特に介護療養施設サービスではその差が大きい(図10)。

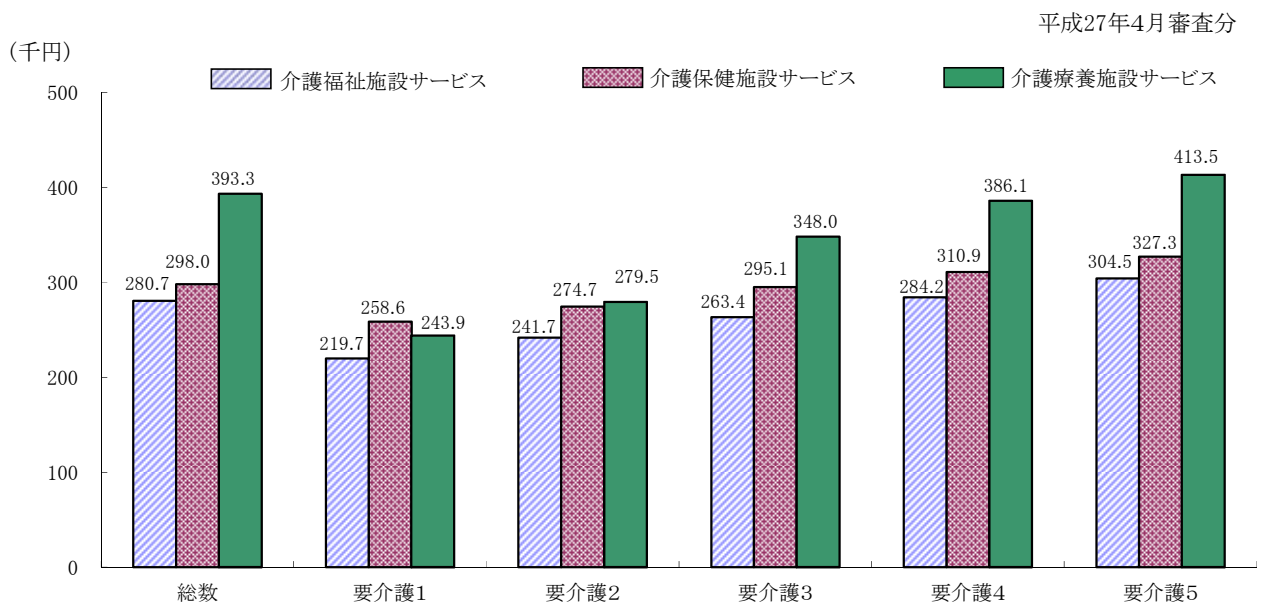
表11 施設サービス別にみた要介護状態区別単位数

平成26年5月審査分～平成27年4月審査分

	介護福祉施設サービス		介護保健施設サービス		介護療養施設サービス	
	単位数 (千単位)	構成割合 (%)	単位数 (千単位)	構成割合 (%)	単位数 (千単位)	構成割合 (%)
総数	161 309 881	100.0	122 057 820	100.0	28 797 936	100.0
要介護1	3 787 293	2.3	11 040 202	9.0	208 203	0.7
要介護2	11 960 880	7.4	20 462 278	16.8	550 617	1.9
要介護3	32 599 765	20.2	29 001 705	23.8	1 987 864	6.9
要介護4	54 540 944	33.8	34 652 726	28.4	9 118 124	31.7
要介護5	58 420 860	36.2	26 900 697	22.0	16 933 127	58.8

注：総数には、月の途中で要介護から要支援に変更となった者を含む。

図10 要介護状態区別にみた施設サービス別受給者1人当たり費用額



注：受給者1人当たり費用額 = 費用額 / 受給者数

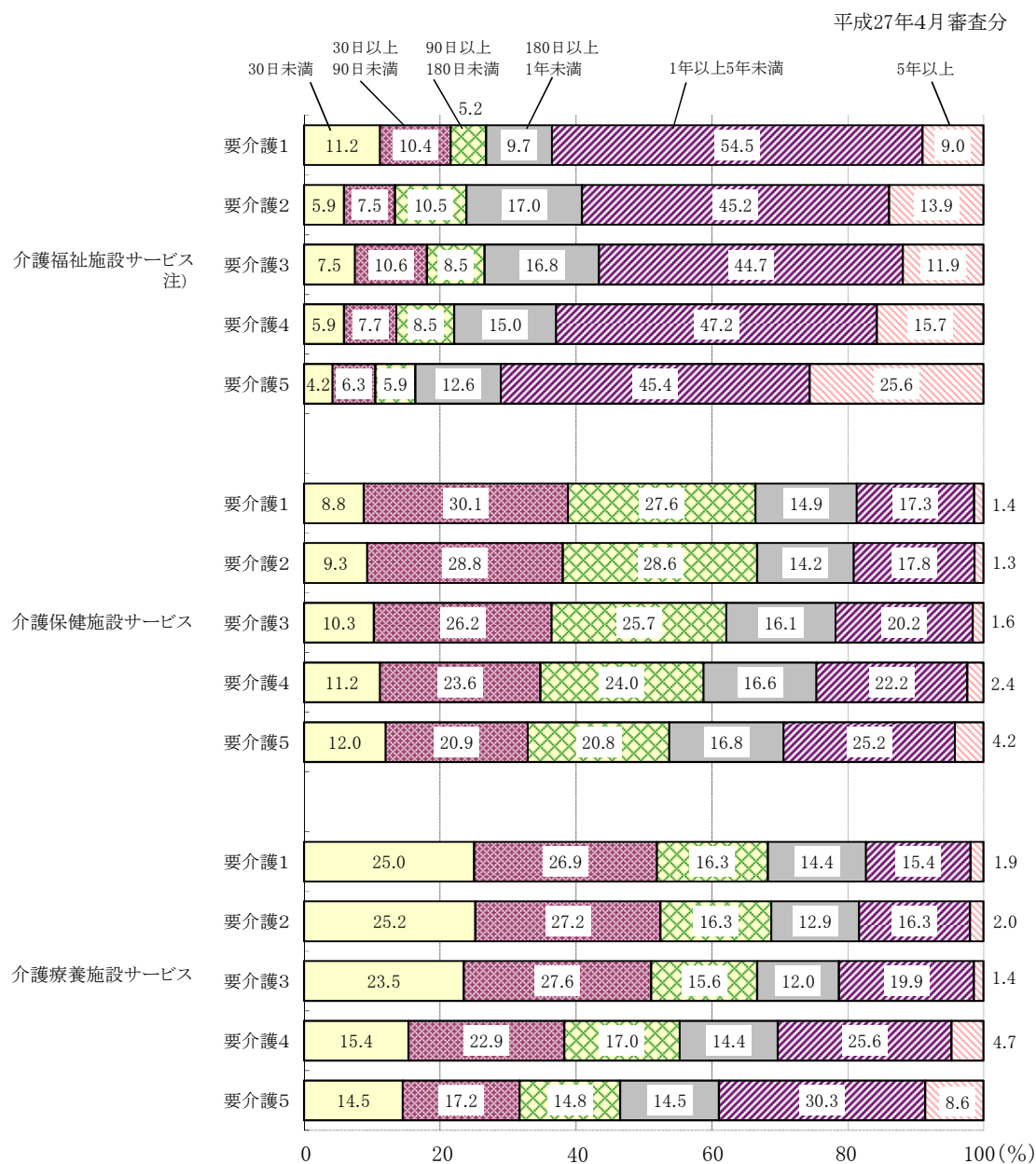
(2) 退所(院)者の入所(院)期間別割合

平成27年3月中に退所(院)した施設サービス受給者について、要介護状態区別に入所(院)期間の割合をみると、介護福祉施設サービスでは、いずれの要介護状態区分でも「1年以上5年未満」の割合が最も多い。

介護保健施設サービスでは、要介護状態区分が高くなるに従って、1年以上の割合が多くなっている。

介護療養施設サービスでは、「要介護1」～「要介護3」では90日未満の割合が5割を超え、「要介護4」「要介護5」では、「1年以上5年未満」の割合が最も多い。(図11)

図11 施設サービス・要介護状態区別にみた退所(院)者の入所(院)期間別構成割合



注：介護福祉施設サービスには、地域密着型介護老人福祉施設サービスを含む。